

第8期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	(1) 「こがねい障がい児・者ふくしまップ」の増刷について (2) 「障害者（児）・家族防災のパンフレット」の増刷について (3) 小金井市地域公共交通活性化協議会委員の推薦について (4) 障害者週間実行委員会委員の選出について
開催日等	令和5年5月10日（水）
部会名・記録担当委員名	社会参加・就労支援部会・障害福祉係 加藤
<p>【協議事項(1)「こがねい障がい児・者ふくしまップ」の増刷について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未掲載及び廃業となった事業所についても受託者が決定次第、市内全事業所へ調査し、内容を精査する予定。 ・7～8年スパンでの作成では事業所の情報更新に大きなタイムラグが生じるため、更新時期は要検討。同時にホームページにも掲載済み。 ・随時の更新情報については「挟み込み」という手段で、市役所での配布分だけでも冊子に反映できるとよい。 ・部数を減らすと作成スパンは短くなるが、作成単価は高くなる見込みでありバランスが難しい。 <p>【協議事項(2)「障害者（児）・家族防災のパンフレット」の増刷について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成している自治体が多くないため、他県等からの問い合わせも多い。 ・SNSの活用方法など掲載してはどうか。 ・気象庁が避難準備情報を近年整理したため、その情報へたどり着ける内容の掲載 ・単語の意味補足（例：P. 19「特別食」とは？など） ・参照情報のリンクが有効か、さらに有益な情報がないか確認。 <p>【協議事項(3)小金井市地域公共交通活性化協議会委員の推薦について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体・知的の方が利用される事業所の関係者が望ましいと思う。 ・障がい者バスチケットが廃止になり、ICカードでは残高を交通費とは別の目的に使用してしまう方もおられ、利便性の高まりと逆行して現物給付の方が便利なシーンもあった。 ・運賃の障がい者割引がワンコインでなく90円とかでも、扱いつらさを感じる方もいる。 <p>⇒ （意見は出たが）当部会からは推薦者なし</p>	

【協議事項(4)障害者週間実行委員会委員の選出について】

⇒ 部会長が立候補

- ・興味ない、知らない人にどうやって知ってもらうかが大きな課題。
- ・福祉関係者のみでは内輪の文化祭のようになってしまうので、障害に関係のない小金井市のイベントやお店を巻き込んだり、時期的にクリスマスイベントにからめたりなど、本来の目的である福祉の外の人々に知ってもらう工夫がより必要。
- ・例えば、11月の「武蔵野はらっぱまつり」の出店者はSDGs意識も高く、内容の質も高いので、巻き込めるとよいのではないか。
- ・「障害者週間」単体で例年通りのことをしていても新たに関心を持つ人を呼び込むのは難しい。
- ・「障害者週間」というイベント名称がとっつきにくいと感じる（福祉関係者だけのもの、と感じる。）。サブタイトルを付けたり、コラボレーションを図ったり周知の工夫が必要。知らないイベントに人は来ない、ひいては業界の人手不足につながっていると感じる。知らないということが大きな壁。
- ・障害者のイベントを上手にやっている例を知りたい。
- ・イベント会社などに外注できれば出店料を徴収するなどして予算規模も拡大かつ効率的な運営ができるかもしれない。
- ・子どもたちの体験コーナーなど、来場者が楽しいものを。

【4 その他（各部会における専門事項）】

- ・障害福祉サービス事業所の取扱商品について、令和5年2月3日から市ホームページに紹介記事を掲載した。また、事業所のリンクも貼付済み。

以上

【次回の開催日程】

令和5年6月7日（水）全体会